



## 2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月10日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4992 URL <https://www.hokkochem.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 健一  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 榎本 鋭 TEL 03-3279-5152  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2025年11月期第3四半期の連結業績（2024年12月1日～2025年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	41,578	5.9	4,846	8.5	5,580	6.3	4,127	11.3
2024年11月期第3四半期	39,261	2.9	4,468	△7.7	5,250	△5.9	3,708	2.3

(注) 包括利益 2025年11月期第3四半期 8,297百万円 (141.5%) 2024年11月期第3四半期 3,435百万円 (△25.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	156.81	—
2024年11月期第3四半期	136.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第3四半期	77,205	52,712	68.3
2024年11月期	65,322	46,198	70.7

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 52,712百万円 2024年11月期 46,198百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2025年11月期	—	20.00	—		
2025年11月期（予想）				26.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

(注) 2025年11月期(予想)の期末配当金には、記念配当が6円00銭含まれております。

詳細は、本日(2025年10月10日)公表いたしました「2025年11月期配当予想の修正（創立75周年記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	2.8	4,750	4.6	5,700	0.2	3,850	△3.9	144.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年11月期 3 Q	28,485,531株	2024年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	2025年11月期 3 Q	2,454,694株	2024年11月期	3,371,380株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年11月期 3 Q	26,319,339株	2024年11月期 3 Q	27,080,916株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復しています。景気の先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、2024年度を初年度とする第2次3ヵ年経営計画（2nd Stage）において、生産能力向上等の成長投資を基盤に、前計画から継続して取り組む3つの改革（収益構造改革、造り方改革、働き方改革）を柱として、収益基盤・生産基盤を強化していきます。また、各事業の成長戦略と次世代の成長領域を明確化・具体化し、農薬事業とファインケミカル事業を両輪とした経営をさらに進化していく方針です。

当第3四半期の業績は、農薬事業における販売が伸長したことから、売上高は、41,578百万円、前年同期比2,317百万円（5.9%）の増収となりました。

利益面では、農薬事業の売上高増加や利益率改善により、営業利益は、4,846百万円、前年同期比379百万円（8.5%）の増加、経常利益は、為替差損の計上はあったものの、5,580百万円、前年同期比330百万円（6.3%）の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上により、4,127百万円、前年同期比419百万円（11.3%）の増加となりました。

セグメントの概況については以下のとおりです。

（単位：百万円）

	2024年11月期 第3四半期		2025年11月期 第3四半期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高 (増減率)	営業利益 (増減率)
農薬事業	24,830	1,259	27,046	1,644	2,216 (8.9%)	385 (30.6%)
ファインケミカル事業	13,067	3,156	13,095	3,151	28 (0.2%)	△4 (△0.1%)
繊維資材事業	1,354	61	1,432	59	78 (5.7%)	△2 (△3.2%)
その他	10	△9	5	△9	△5 (△47.0%)	△0 (△0.0%)
計	39,261	4,468	41,578	4,846	2,317 (5.9%)	379 (8.5%)

## 〔農薬事業〕

農薬事業の売上高は、これまでの普及推進活動の成果に加え、米価上昇やカメムシの発生予察情報による防除意欲の高まりなどにより、国内販売は水稻剤、園芸剤ともに好調に推移し、海外販売も中南米向け（メキシコ等）の受注増加により、27,046百万円、前年同期比2,216百万円

（8.9%）の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や利益率改善により、1,644百万円、前年同期比385百万円（30.6%）の増加となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル事業の売上高は、樹脂分野等が、海外経済減速や価格競争の影響を受けて減少したものの、医農薬分野の回復等や電子材料分野の受注増により、13,095百万円、前年同期比28百万円（0.2%）の増収となりました。営業利益は、中国子会社の減益の影響もあり、3,151百万円、前年同期比4百万円（0.1%）の減少となりました。

〔繊維資材事業〕

繊維資材事業の売上高は、主に産業用繊維素材の販売が増加したことにより、1,432百万円、前年同期比78百万円（5.7%）の増収となりました。営業利益は、退職給付費用の増加により、59百万円、前年同期比2百万円（3.2%）の減少となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は77,205百万円となり、前連結会計年度末比11,883百万円の増加となりました。主な内訳として、受取手形、売掛金及び契約資産、投資有価証券が増加した一方、有価証券、商品及び製品が減少しております。

負債の残高は24,494百万円となり、前連結会計年度末比5,369百万円の増加となりました。内訳として、支払手形及び買掛金、一年内返済の長期借入金が増加した一方、未払費用が減少しております。純資産の残高は52,712百万円となり、前連結会計年度末比6,514百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は68.3%となり、前連結会計年度の70.7%から2.4ポイント減少しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の連結業績予想につきましては、2025年1月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,207	9,740
受取手形、売掛金及び契約資産	11,055	19,031
有価証券	3,500	—
商品及び製品	12,170	8,519
仕掛品	490	348
原材料及び貯蔵品	6,198	6,664
返品資産	5	—
その他	1,063	1,351
流動資産合計	40,686	45,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,442	5,313
機械装置及び運搬具（純額）	3,729	3,564
土地	973	980
その他（純額）	456	1,420
有形固定資産合計	10,600	11,277
無形固定資産	590	510
投資その他の資産		
投資有価証券	12,259	18,522
繰延税金資産	26	27
返品資産	14	19
退職給付に係る資産	954	1,005
その他	211	210
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	13,445	19,765
固定資産合計	24,636	31,551
資産合計	65,322	77,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,610	8,701
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払金	2,192	1,673
未払費用	3,478	3,216
未払法人税等	665	1,208
未払消費税等	291	660
賞与引当金	—	273
返金負債	168	52
その他	87	146
流動負債合計	12,491	16,928
固定負債		
長期借入金	1,000	—
退職給付に係る負債	2,387	2,358
繰延税金負債	2,664	4,427
返金負債	529	710
その他	53	70
固定負債合計	6,633	7,566
負債合計	19,124	24,494
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	33,325	35,555
自己株式	△1,913	△1,798
株主資本合計	37,235	39,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,694	11,998
為替換算調整勘定	684	633
退職給付に係る調整累計額	585	502
その他の包括利益累計額合計	8,963	13,132
純資産合計	46,198	52,712
負債純資産合計	65,322	77,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上高	39,261	41,578
売上原価	29,237	31,042
売上総利益	10,024	10,536
販売費及び一般管理費	5,557	5,690
営業利益	4,468	4,846
営業外収益		
受取利息及び配当金	428	526
受取手数料	209	227
為替差益	14	—
その他	157	71
営業外収益合計	807	824
営業外費用		
支払利息	22	18
為替差損	—	64
その他	3	8
営業外費用合計	25	90
経常利益	5,250	5,580
特別利益		
固定資産売却益	1	26
投資有価証券売却益	185	345
特別利益合計	186	371
特別損失		
固定資産除却損	77	66
特別損失合計	77	66
税金等調整前四半期純利益	5,359	5,886
法人税等	1,651	1,758
四半期純利益	3,708	4,127
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,708	4,127



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益	3,708	4,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	4,303
為替換算調整勘定	△52	△51
退職給付に係る調整額	△45	△83
その他の包括利益合計	△272	4,169
四半期包括利益	3,435	8,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,435	8,297

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年10月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式296,500株の取得を行い、また、2025年7月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式286,800株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が830百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2025年3月25日開催の取締役会決議に基づき、2025年4月10日付で、自己株式1,500,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ945百万円減少しました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が35,555百万円、自己株式が1,798百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	1,341百万円	1,285百万円
のれんの償却額	29	29

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## Ⅰ. 前第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,830	13,067	1,354	39,251	10	39,261	—	39,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	13	13	389	402	△402	—
計	24,830	13,067	1,367	39,264	399	39,663	△402	39,261
セグメント利益	1,259	3,156	61	4,476	9	4,485	△18	4,468

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去11百万円及びのれんの償却額△29百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 上表には含まれておりませんが、農薬原体に関連する受取手数料(209百万円)が営業外収益に計上されており、当該手数料を加味した場合、農薬事業における利益は1,468百万円となります。

## Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファインケ ミカル事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,046	13,095	1,432	41,573	5	41,578	—	41,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	18	18	337	355	△355	—
計	27,046	13,095	1,450	41,591	343	41,933	△355	41,578
セグメント利益	1,644	3,151	59	4,855	9	4,864	△17	4,846

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去12百万円及びのれんの償却額△29百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 上表には含まれておりませんが、農薬原体に関連する受取手数料(227百万円)が営業外収益に計上されており、当該手数料を加味した場合、農薬事業における利益は1,871百万円となります。